

2021 年度実施概要

学校名

阪南市立尾崎小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

実施単元

単元名	学年	教科
1. 海洋教育オリエンテーション	4～6年	総合
2. アマモ花枝採取、生き物観察	6年	総合
3. 漁業ってなに？ 尾崎漁港へ行ってみよう 私たちの漁業	5年	総合・社会
4. 海藻おしぼをつくろう	3年	総合・図工
5. チリメンモンスターを探そう	2年	生活
6. ビーチコーミング ビーチプレートをつくろう	1年	生活・図工
ビーチコーミング 海の漂流物を使ってつくろう	2年	生活・図工
7. 臨海学舎	5年	総合
8. 私たちにできること（ポスター作成・校内掲示）	6年	国語
9. うみのかくれんぼ	1年	国語
10. 環境保全ポスター	4年	図工
11. 男里川から大阪湾へ（9月：男里川 10月：尾崎海岸）	4年	総合・理科
12. アマモ種子選別	6年	総合
13. 大漁旗を描こう	5年	図工
14. 漁師さんへの聞き書き（聞き書き、新聞作成・校内掲示）	5年	総合・社会
15. SDGsを知ろう	6年	総合
16. アマモ苗床づくり・播種	5年	総合
17. 私たちの海でワカメを育てよう	5年	総合
18. 育てたワカメを収穫しよう ワカメを佃煮にしてみよう	5年	総合・家庭科

取り組みの概要

1. 概要

本校は、男里川がすぐそばを流れており、河口から尾崎海岸へと繋がっていて、海洋教育を進めるうえでの立地的条件が整っている。昨年度から海洋教育の一環として、この地域を活動の場とした取り組みを行っている。昨年度同様、海洋教育実施校（西鳥取小学校・下荘小学校・舞小学校・上荘小学校）との連携・交流および地域の尾崎漁業協同組合やNPO大阪湾沿岸域環境創造研究センター、男里川環境保全委員会と協働して取り組みを実施した。

2. 目標

- (1) 「海」での活動の楽しさや生き物の多様性、アマモ場の環境保全活動、地域について知る。
- (2) 知りえたことをもとに、自分たちができる事を考える。
- (3) 考えたことを実行していく中で、身近な環境や地域を大切にしていこうとする心情や食への関心、思いを形にする実行力などを見につける。

3. 取り組み

【海に親しむ】 海の自然に親しむ、海の多様性に触れる

○ビーチコーミング（7月）1・2年

近くの海岸を歩いて、生き物を探したり貝殻などを拾ったりする

拾ってきた貝殻などを用いてフォトスタンドをつくる

○チリメンモンスター探し（7月）2年

チリメンモンスターを探す活動を通して、海の生き物の多様性について知る

○臨海学舎（7月）5年

カヌーや筏に乗る活動を通して、海での楽しさに触れる

ウミホタルの観察を通して、海の生き物の不思議さに触れる

【海を知る】 海の自然や資源・人との繋がりについて関心を持つ

○海藻おしば体験（6月）3年

海藻を用いて、絵葉書をつくる

○漁港見学（7→9月）5年

近くの尾崎漁港を見学し、漁師から漁船や漁具について学ぶ

○水辺の学校（7・9月）4年 →天候不良で男里川での活動は実施できず

山川海の循環性について学ぶ

近くの男里川で、災害や水質について学ぶ

男里川やその河口で、生き物調査をする

○聞き書き学習（12月）5年

尾崎漁業協同組合の漁師を招き、漁師から人となりや海・漁業に対しての思いを聞く

【海を守る・利用する】 海の保全活動を体験する、自分にできることを考えて実行する

○アマモ花枝採取・生き物調査・地曳網体験（6月）6年

尾崎海岸のアマモ場で、アマモの花枝を採取したり生き物調査をしたりする

○環境保全ポスターづくり（9月）4年

環境保全について調べ、環境に優しい取組を啓発するためのポスターをつくる

- アマモ種子選別（9月）6年 → 種子が少ない、実施できず
アマモの種子を選別する
- 海岸清掃活動（10月）参加希望児童とその保護者・地域
男里川河口～えびの浜までの海岸線の清掃を行う
- アマモ苗床づくり・播種（11月）5年 → 種子が少ない、播種は実施できず
- ワカメ種糸つけ（12月）・収穫（3月）5年
- ワカメ調理（3月）→ コロナ禍のため、実施できず
収穫したワカメを用いて、佃煮をつくる
- 活動をまとめる（2月）全学年
各学年の活動をインタビュー形式でまとめた『尾崎プライムニュース』という動画を作成し、全校児童に向けて発信するとともに、次年度の活動への意欲を高める

4. 成果

- ・活動も2年目になり、各学年の教育活動に少しずつ海洋教育のねらいや考え方などが反映されてくるようになってきた。
- ・多くのゲストティーチャーの方の関わりによって、全学年で「海」とのつながりを感じさせる活動を行うことができた。
- ・地域教育協議会の取組みとして海岸清掃活動があったが、昨年度を超える参加者があり、次年度からの小学校発信の形での活動継続に希望を持つことができた。
- ・主な活動は5年生での実施だったが、どの学年でも関連した教科・領域での学習の理解が深まっただけでなく、SDGsを意識した活動にも取り組むことができてきた。
- ・水槽でアマモを育てない時期にも海の生き物を育てたり、まとめ動画の撮影・上映をしたりしたことで、全学年の児童が自分たちの学んでいることをより実感することができた。

5. 課題

- ・他教科等との関連性を意識して活動する。
(活動を単発的なものとして終わるのではなく、学年を重ねることでさらに学びを深められるように)
- ・自分たちが学んできたことを地域に発信していく。
(児童が地域とともに活動しながらともに生きていけるように)

活動中の写真

